

令和4(2022)年度 住まいとコミュニティづくり活動助成 活動中間報告

団体名

一般社団法人 achieve

活動のテーマ

住宅確保要配慮者（住宅困窮者）の一人暮らし体験を支援するサブリース活動

9月までに達成できた事項(箇条書き)

■サブリース物件確保の為の情報収集

名古屋市住宅確保要配慮者居住支援協議会へ入会。

実際にサブリース事業を行う居住支援法人を訪問、見学。当活動に対する助言をいただく。

■他居住支援法人、その他関係機関、不動産会社への協力依頼

一人暮らし体験事業の周知及び、当事業条件に合致する物件の探し方について相談。

■相談窓口開設

パンフレットの作成、送付。公式 Line の開設。

相談業務で使用する、アセスメントシート等の各用紙・心理検査 STAI の準備。

■サブリース物件の確保、契約。

4ヶ月間の短期サブリース契約かつ、入居者の入れ替わりが可能である物件確保が困難であり、マンスリーマンションの物件を確保する。多方面よりアクセスのし易い、物件を契約。(JR 中央線大曽根駅 徒歩 6 分)

■区役所を往訪し、自治会に対する周知や地域行事への参加について相談する。

今後の活動予定と令和5年3月末時点の達成予定事項

- ・区役所で紹介いただいた、町内会長と民生委員と面談し、町内会行事の参加や、収集日のごみ分別の手伝い等を打診し、住宅確保要配慮者が地域の一員としての役割を担える場を作る。
- ・一人暮らし体験希望者を随時募集する。物件が決定した為、積極的に活動を周知し、入居者の募集に努める。
- ・体験希望者決定後、アセスメントを実施し、支援計画を作成する。入居前支援、体験実施、体験後の振り返りを行う。
- ・入居者の見守り体制を各関係機関と協働できるように相談、連携を図る。
- ・実際の入居支援を通して、相談支援業務に使用する各シートを見直し、改善する。
- ・一人暮らし体験後は、今後の方向性を話し合い、その後の生活支援に向けた相談支援業務を行う。

一人暮らしに向けた段階的な支援を行うことで、漠然とした不安の払拭や、近隣トラブルを回避することができる。また、住宅確保要配慮者に対する地域住民の理解の促進を図り、地域力を向上させる。各関係機関との連携を強化し、多角的な視点を持ち、持続できる事業展開を思案する。

住まい活動助成

一般社団法人 achieve (アチーブ) 愛知県名古屋市

住宅確保要配慮者(住宅困窮者)の一人暮らし体験を支援するサブリース活動



団体設立経緯と

助成対象活動に至った理由や背景

当法人は、令和3年度に愛知県による居住支援法人指定を受け、令和4年度より国交省による居住支援法人補助事業を開始しました。役員は心理・福祉の専門職であり、非行少年や障害者に対する支援に長年に亘り、携わってきました。その中で、社会的弱者(特に非行少年や、児童養護施設出身者等の若年者)は、一人暮らしを目標とするものの、具体的なイメージを抱きづらく、一人暮らしを開始した後、想像以上の孤独や生活スキルの未熟さ故に、安定した生活を継続させるのが難しいことが分かってきました。

そのため、従来の居住支援事業(一人暮らし開始)前の、一人暮らしを検討している段階で、当事者・支援者が感じている漠然とした不安や、一人暮らしに向けた本人の課題を「一人暮らし体験」を通じてより明確にし、対処策を講じることで、その後の一人暮らしをより円滑に進めていける事業を展開したいと思案しました。

支援者と共に、单身生活に向けた準備を段階的に行いながら、一人ひとりに適した支援を実施し、その方の目指すその後の生活を、より安定した形で継続させることを目的としています。

9月までの活動の進捗状況

サブリース物件確保の為の情報収集

名古屋市住宅確保要配慮者居住支援協議会へ入会しました。また、実際にサブリース事業を行う居住支援法人を訪問、見学し、当活動に対する助言をいただきました(令和4年4月)。

他居住支援法人、その他関係機関、不動産会社への協力依頼

一人暮らし体験事業の周知及び、当事業条件に合致す

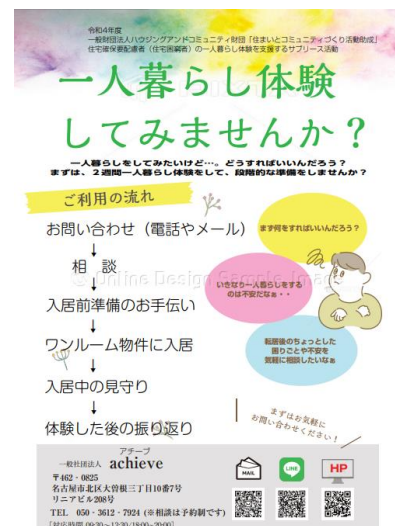
る物件の探し方について相談しました。その際、他居住支援法人より、不動産会社を紹介していただき、サブリース物件の探し方について相談、今後の協力を依頼しました。物件の場所について、当初は名古屋市守山区周辺を検討していましたが、名古屋市内及び近郊からのアクセスの良い物件はどうかとのご提案をいただき、範囲を広げて再検討しました。(令和4年4月~8月)



本契約した物件周辺の地図

相談窓口(ももさく)を開設と事業活動の情報発信

相談窓口を開設しました。また、当活動のパンフレットを作成し、各関係機関や不動産会社等へ活動案内を送付しました。併せて公式LINEを開設し、活動の周知及び相談窓口の整備を行いました(令和4年4月~9月)。

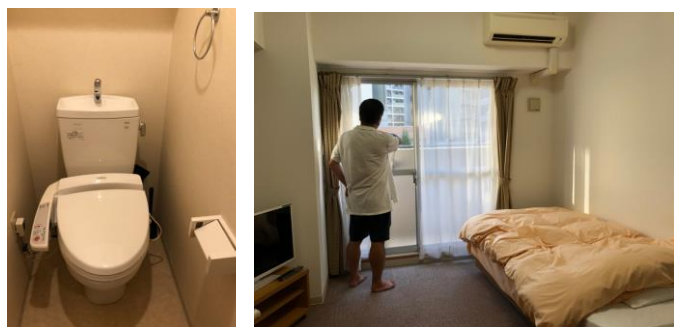


▶ サブリース物件の確保・契約

短期間のサブリース契約かつ、約2週間毎の入居者入れ替わりが可能であることを条件に物件探しを行いました。予想通り難航しましたが、通常の賃貸契約物件ではなく、マンスリーマンションの物件を確保しました。近隣の資源（スーパーや薬局等）の有無や女性でも安心して住めるか等を勘察し、JR中央線・名古屋市地下鉄大曾根駅 徒歩6分の物件を4ヶ月間契約しました。多方面からのアクセスが良い為、多地域からの体験希望者が集まることを期待しています。



一人暮らし体験部屋（外観）



一人暮らし体験部屋（内観）

▶ 区役所・自治会への協力依頼

マンスリーマンションの特性上、他の入居者と関わる場面はほぼ無い、との不動産会社の見解であったため、区役所を往訪し、自治会に対する周知や地域行事への参加について相談をしました（令和4年9月）。

北区役所地域推進係及びこども課より、町内会と民生委員を紹介いただき、近日中に面談予定です。

▶ 体験希望者の募集

各関係機関へパンフレットを送付しました。

▶ 相談業務で使用するアセスメントシートや振り返りシート・心理検査用紙等の準備

短期間（約2週間）の一人暮らし体験が、何となく終了してしまった、とならない様に、アセスメントシートを作成しました。体験中に頑張りたいことを入居者本人に目標設定してもらい、体験終了後に目標達成について振り返りを実施できるシートを作成しました。また、体験入居前後に心理検査を実施し、自身の特徴や傾向について支援者と共に検査結果を踏まえて振り返りができるよう、心理検査用紙を準備しました。

今後の活動予定

▶ 一人暮らし体験希望者を募集

物件が決定した為、積極的に活動を周知し、入居者の募集に努めます。

▶ 入居者へのアセスメント、体験実施、振り返り

体験希望者の決定後、アセスメントシートを活用し、支援計画を作成、入居前支援、体験実施、振り返りを実施します。なお、体験入居中の見守りは、各関係機関と協働できるように、相談・連携を図る予定です。

▶ 体験後の生活に向けた相談業務

体験後の生活や就労について、各関係機関と連携協力しながら相談業務を実施します。



▶ 地域資源（町内会・民生委員）との関わり

当活動について周知し、入居者が地域住民の一員としての役割を担える場を創出したいと考えます。また、住宅確保要配慮者に対する地域住民の理解の促進を図り、地域力を向上させることを目指します。

アチーブ
一般社団法人 **achieve**
〒462-0825
名古屋市北区大曾根三丁目10番7号
リニアビル208号
TEL 050-3612-7924（※相談は予約制です）
[対応時間 09:30~13:30/18:00~20:00]